

【五一】靖国神社合祀者調査及上申内則（昭和19年7月15日陸密第二九五三號）

部外秘 昭和十九年七月陸軍省印刷

陸密第二九五三號

靖国神社合祀者調査及上申内則

陸密第二九五三號

(甲)

靖国神社合祀調査及上申内則本册ノ通定ム

昭和十九年七月十五日

陸軍大臣 東條英機

靖国神社合祀調査及上申内則目次

第一章 要 旨……………頁

第二章 合祀者ノ調査及詮衡……………一

第三章 上申名簿及附屬書類ノ調製並ニ進達……………二

第四章 其 他……………四

附表 第一乃至第四……………四

靖国神社合祀者調査及上申内則

第一章 要 旨

第一條 靖国神社ノ御創建ハ一ニ叡慮ニ出ツ仍チ其ノ合祀ハ戰役事變ニ際シ國家ノ大事ニ斃レタル者ニ對スル神聖無比ノ恩典ナリ上申ノ衝ニ當ルモノハ思フ深ク茲ニ致シ常ニ敬虔ニシテ公明ナル心情ヲ以テ其ノ處理ニ任スヘキモノトス

第二條 本内則ハ滿洲事變、支那事變、大東亞戰爭ニ關シ死歿シタル陸軍軍人軍屬ノ靖国神社合祀資格者ノ調査詮衡、上申名簿ノ調製、進達ニ關シ各部隊ニ必要ナル事項ヲ定ム

第三條 各部隊長ハ本内則ニ依リ其部下ノ死歿者ヲ慎重ニ調査

詮衡シ上申名簿ヲ調製ノ上所管長官（師團長及之ト同等以上ノ職權ヲ有スル長官ヲ謂フ）ニ、所管長官ハ更ニ陸軍大臣ニ進達スルモノトス

第四條 作戰、戦闘ノ特質其他眞ニ己ムヲ得サル状況上本内則所定ノ調査詮衡、上申名簿同附屬ノ書類ノ調製進達困難ナル場合ハ所管長官ニ於テ其ノ事由ヲ具シ處理要領ニ關シ順序ヲ經テ陸軍大臣ニ上申スルモノトス

第二章 合祀者ノ調査及詮衡

第五條 合祀者ノ上申ハ合祀上申ト特別合祀上申トニ分ツ

第六條 各部隊ニ於テ上申スヘキ者ハ滿洲事變、支那事變、大東亞戰爭ニ關シ死歿シタル陸軍軍人軍屬ニシテ左ノ各號ニ該當スルモノトス

一、合祀上申

戰死者又ハ戰傷死者

二、特別合祀上申

1、戰地（事變地）ニ於テ左ノ各項ニ該當シ死歿シタル者

- イ、特定ノ流行病ニ罹リタル者
- マ、マラリア 猩紅熱 痘 瘡 コレラ
- 發疹チフス 腸チフス パラチフス ペスト
- 回 歸 熱 赤 痢 流行性腦脊髄膜炎 トリパノゾウム病
- ワイル氏病 カラアザール 熱 流行性出血熱
- Dengue 熱

ロ、自己ノ重大ナル過失ニ因ラスシテ傷痍ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リ死歿シタル者

ハ、自殺者ニシテ其情狀合祀ヲ至當ト認ムル者

2、戰地（事變地）以外ノ地ニ於テ戰役（事變）ニ關スル特殊ノ勤務ニ從事シ之ガ爲傷痍ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リ死歿シタル者ニシテ前號ニ準スル者

第七條 前條該當者ノ調査詮衡上特ニ留意スヘキ事項左ノ如シ

- 一、生死ノ確度調査ヲ慎重ニシ苟モ生存ノ疑アル者ヲ輕舉ニ上申セサルコト
- 二、死歿ノ原因カ戰役（事變）勤務ニ直接基因ノ有無ヲ仔細ニ審査究明スルコト

第三章 上申名簿及附屬書類ノ調製並ニ進達

第八條 上申名簿ノ様式ハ附表第一ノ如シ

本名簿ニ記載スル各項ハ上奏名簿及靈簿調製ノ基礎資料ナルニ鑑ミ極メテ正確ナルヲ要ス

靈簿簿トハ神社内陣ニ奉齋スル祭神名簿ニシテ上奏名簿ト共ニ後日ニ於ケル之カ訂正ハ絕對不可能ナリ

第九條 所管長官ハ作戰ノ繁簡等ヲ顧慮シ部下各部隊長ヲシテ適時上申名簿ヲ進達セシメ所要ノ調査ヲ爲シ取纏メ（概ネ一ヶ月分ヲ標準トス）留守業務擔任部隊長同管理官ヲ經由シテ陸軍大臣ニ進達スルモノトス、其要領左ノ如シ

一、調製官ハ戶籍記載事項證明書ヲ添付スルコト無ク軍人軍屬ニ分チ更ニ之ヲ合祀上申ト特別合祀上申トニ區分シ附表第三様式ニ依リ一連名簿ヲ添付シ所管長官ニ進達ス

二、所管長官ハ陸軍大臣宛ノ上申文書ト共ニ關係留守業務擔任部隊長ニ送附ス

三、留守業務擔任部隊長ハ前號ニ依リ受理スルヤ本人ノ死歿事項ヲ記載セル戶籍記載事項證明書ヲ當該上申名簿ニ添付シ速ニ留守業務管理官ニ進達ス

四、留守業務管理官前號ニ依リ受理スルヤ速ニ陸軍大臣ニ進達スルモノトス

内地部隊ヨリノ進達要領亦本條ヲ準用ス

第十條 作戰其他眞ニ己ムヲ得サル場合ハ所管長官ニ於テ留守業務管理官ト協議ノ上上申書類ノ調製及進達ヲ當該留守業務擔任部隊長ニ委託スルコトヲ得其要領左ノ如シ

一、死歿時ノ所屬部隊長ハ適宜ノ様式ニ依ル上申者ノ一連名簿ヲ作製シ所要ノ資料ヲ添付ノ上所管長官ニ進達シ所管長官ハ所要ノ調査ヲ爲シ之ヲ留守業務擔任部隊長ニ送付ス

二、留守業務擔任部隊長ハ上申書類ヲ調製整備ノ上留守業務管理官ニ進達ス

三、留守業務管理官ハ第九條ニ準シ取扱ヒ陸軍大臣ニ進達ス本條ニ依リ委託シタル場合ハ所管長官ヨリ其部隊號、委託期間、其事由ヲ陸軍大臣ニ報告スルモノトス

第十一條 調製官ハ左ノ諸官トス

- 一、軍人軍屬ノ死歿時ノ所屬獨立部隊長、高等司令部ノ幕僚長、各部長並ニ之ニ準スル職權ヲ有スル者
- 二、官衙、學校等ニ在リテハ前號ニ準スル職權ヲ有スル者
- 三、死歿時ノ所屬部隊カ復員、復歸、解除等ノ場合ハ留守業務擔任部隊等ニ引繼クコトナク所屬部隊長自ラ調製スルヲ本則トス但シ己ムヲ得サル場合ハ當該部隊ノ動員（編成）擔任或ハ留守業務擔任部隊長ニ引繼クコトヲ得

四、第十條ノ場合ニ在リテハ留守業務擔任部隊長又ハ之ニ準スヘキ本條第一號、第二號ニ掲クル者

五、死歿時ノ所屬部隊ナキ者ハ本人本籍地所管ノ聯隊區司令官又ハ兵事部長

六、其他ハ所要ニ應シ所管長官ニ於テ指示スルモノトス

第十二條 上申名簿ノ調製記載要領左ノ如シ

一、役種、官等、位、勳、功、爵氏名、欄

1、役種、官等、位勳功ハ左ノ通略記スルモノトス

役種 現、豫、等

官等 昭和十五年陸普第七四二〇號ニ依ル

位勳功 正七、勳五、功五、等

2、昭和十五年九月十五日以前ノ死歿者ハ死歿時ノ官等（兵科區分ヲ冠ス）ニ依リ又昭和十六年三月三十一日以前ノ死歿者ハ從前ノ役種區分ニ依ル

3、上申名簿進達迄ニ論功賞未發令ノ場合ハ現在ノ位、勳功ヲ記載シ、名簿進達後發令アリタル場合ハ附表第四様式ニ依リ速ニ異動報告ヲ提出スルモノトス

4、氏名ハ戸籍記載事項ト一致スルヲ要ス

二、遺族欄

遺族ノ指定ハ故人ノ祭祀擔任及血縁ヲ顧シ祭神ノ配偶者、子（庶子、養子女、相續人ヲ含ム）父母ノ順位トシ以上ノ者無キ場合或ハ現存スルモ適當ナラサル場合ハ二親等以下ニ及ホシ選定記載スルモノトス、但シ正當ノ順位者現存スルモ指定シ難キ場合ハ簡單ニ其理由ヲ別紙ニ記載添附スルヲ要ス

三、所屬部隊號欄

死歿時ノ所管及部隊號（固有部隊號）ヲ記載ス但シ在郷間死歿者ニアリテハ本人最終ノ所屬部隊號トス

四、死亡事由欄

1、死亡事由欄ハ左ノ如ク配列シ正確ナルヲ要ス細部ノ記載例ハ附表第一ニ依ル

（原因曆日）——（場所）——（任務）——（受傷部位）

……（死亡曆日）——（場所）——（死亡區分）

2、戦死、戦傷死、不慮死、自殺、他殺ノ原因ハ判然タル如ク記載スルヲ要ス

3、特殊狀況ニ於ケル戦死、其他ニシテ屍體ノ收容ニ關シ疑義ヲ生スル虞レアル場合ハ死歿事由ノ末尾ニ屍體收容ト明記スルヲ要ス

4、死亡事由長キ場合及戦死認定ノ場合ハ其事由ヲ別紙ニ記載スルヲ要ス

五、調製官欄

調製官ノ職氏名ヲ記載シ自印ヲ押捺スルモノトス

六、軍屬ノ名簿調製上ノ特例左ノ如シ

1、其從事スル職名ヲ官等ノ左側ニ且採用年月日、宣誓ノ有無及ヒ其ノ年月日ヲ所屬部隊號ノ下方ニ併記スルモノトス

備人（死亡後雇員任命ヲ含ム）ノ職名ハ備給表名稱等級表ニ準ス

2、昭和十二年陸密第一四六二號及昭和十八年陸密第二二三四號ニ依ル軍屬ハ宣誓ノ有無ニ代フルニ「陸密軍屬」又ハ「軍屬船員」ト記載スルモノトス

第十三條 上申名簿ニ添附ヲ要スル附屬表類ノ名稱様式ハ附表第二（同屬表第一號乃至第十號）ノ如シ本書類ハ上申名簿ト共ニ審査上必須ノ資料ナルニ鑑ミ卒直ニ記載シ疑義無キヲ要ス

第十四條 上申名簿進達後其内容ノ訂正事項ヲ發見シタルトキ又ハ異動事項ヲ生シタルトキハ速ニ附表第四様式ニ依ル訂正（異動）報告ヲ提出スルモノトス、但シ生存又ハ歸投或ハ合祀資格無キ事實發覺シタル場合ハ速ニ要旨ヲ電報シ更ニ文書ヲ以テ報告スルモノトス

第十五條 上申名簿及附屬書類ノ改訂ハ原書調製官ニ於テ改訂ノ上認印スルヲ本則トス但シ原書調製官カ死歿轉任其他已ムヲ得サル事情アル場合ハ原書調製官ニ相當スル職權者ニ於テ責任改訂ノ上其旨當該書類適宜ノ位置ニ附記シ認印スルモノトス

第四章 其他

第十六條 上申名簿用紙（附表第二）ハ所管長官ニ於テ調製ノ上各部隊ニ豫メ交付シ置クモノトス但シ代戰其他ノ爲調製シ得サル場合ハ所管長官ヨリ陸軍省ニ請求スルモノトス

本内則施行前ニ調製整備セル上申名簿及附屬書類ニシテ本内則ニ依ル内容ヲ具備セルモノハ改訂ヲ要セザルニ付第九條二拘ラス速ニ進達スルモノトス

又既に準備セル諸用紙ハ改訂ノ上使用スルモノトス

附則

本内則施行前ニ調製整備セル上申名簿及附屬書類ニシテ本内則ニ依ル内容ヲ具備セルモノハ改訂ヲ要セザルニ付第九條二拘ラス速ニ進達スルモノトス

又既に準備セル諸用紙ハ改訂ノ上使用スルモノトス

附表目次
附表第一 上申名簿ノ様式及細部ノ記載要領
附表第二 附屬書類一覽表
附表第三 事實證明書様式
附表第四 現認證明書様式
附表第五 病歴書様式
附表第六 死亡診斷書（死體檢案書）様式
附表第七 死亡證書様式
附表第八 死亡確認（認定）書様式
附表第九 綜合意見書様式
附表第十 在郷間死歿者事實證明書様式
附表第十一 在郷間死歿者狀況調書様式
附表第十二 戶籍記載事項證明書様式
附表第十三 一連名簿様式
附表第十四 異動（訂正）報告様式

【五二】 附表第一 上申名簿ノ様式及細部ノ記載要領

● 附表第一 (上申名簿ノ様式及細部ノ記載要領)

注意  
 一、通常「軍事秘密」ノ標記ヲ爲スモノトス  
 二、紙ノ大サハ美濃判ノ半截トス  
 三、欄外ノ發翰年月日、同番號ハ上申名簿調製官ノ所管長官ニ於テ記載スルモノトス

170 耗

←14 耗→ ←14 耗→ ←53 耗→ ←12 耗→ ←24 耗→ ←12 耗→ ←12 耗→ ←15 耗→ ←13 耗→

發翰年月日	所管長官	昭和 年 月 日	死亡事由	所屬部隊號 (死亡時ノ部 隊號ヲ掲ク)	遺族 現住地	本籍地	生年月日	役官、位、勳、功、爵、氏名	靖國神社 特別合祀 陸軍軍人軍屬上申名簿
14 耗	14 耗	32 耗	50 耗	12 耗	22 耗	12 耗	12 耗	15 耗	13 耗
16 耗	16 耗	16 耗	40 耗	16 耗	16 耗	18 耗	16 耗	36 耗	192 耗
16 耗	16 耗	50 耗	18 耗	86 耗	40 耗	40 耗	40 耗	68 耗	氏名
34 耗	34 耗	44 耗	14 耗	14 耗	14 耗	14 耗	14 耗	14 耗	14 耗

14 耗

ストノモルス色着ニ色赤ヲ縁下テ於ニ隊部製調ハテリ在ニ祀合

細部ノ記載要領

- 一、死亡事由欄ノ記載ハ左ノ如ク配列スルモノトス  
 (原因曆日)——(場所)——(任務)——(受傷部位)  
 ……(死亡曆日)——(場所)——(死亡區分)
- 二、記載例左ノ如シ  
 戰死  
 昭和何年何月何日馬來(支那、滿洲國)何州(省)何地  
 ニ於テ中隊長(何々)トシテ何陣地攻撃中(匪賊討伐)  
 (何々)腹部貫通銃創(何々)ヲ受ケ戰爭死
- 三、戰傷死  
 昭和何年何月何日馬來(支那、滿洲國)何州(省)何地  
 ニ於テ分隊長トシテ何陣地攻撃(匪賊討伐)(何々)中  
 何々部何傷ヲ受ケ何年何月何日第何師團第何野戰病院  
 (何地何)ニ入院、何年何月何日何々病院ニ轉送何年何  
 月何日同院ニ於テ該傷ニ因リ戰傷死  
 戰死確認(認定)
- 四、病死  
 昭和何年何月何日馬來(支那、滿洲國)何州(省)何地  
 ニ於テ警備中赤痢ニ罹リ何月何日何地何々病院ニ於テ該  
 病ニ因リ死亡(左濕性胸膜炎ニ罹リ、何年何月何日肺結  
 核ニ轉症何年何月何日第何師團第何野戰病院ニ於テ該病  
 ニ因リ死亡)
- 五、不慮死  
 昭和何年何月何日馬來(支那、滿洲國)何州(省)何地  
 何々ニ於テ中隊長指揮下ニ補給用荷物整頓中該梱包中ノ  
 砲彈破裂シ頭部破片創ヲ受ケ即死  
 又ハ  
 昭和何年何月何日馬來(支那、滿洲國)何州(省)何ヨ  
 リ何地へ派遣途中何河徒涉ノ際(何地ニ於テ何々從事中  
 海中ニ墜落)生死不明ノ處別紙ノ如ク何月何日何地ニ於  
 テ屍體發見溺死ト確認(屍體發見セサルモ何々ニ因リ死  
 亡ト認定)

表 覽 一 類 書 屬 附												
戸籍記載事項證明書	在郷間死者状況調書	在郷間死者事實證明書	綜合意見書	死亡確認（認定）書	死體檢案書（死亡證書）	死亡診斷書（死亡證書）	病歴書	現認證明書	事實證明書	附屬書類名稱		
										死因區分	死因	
●											（後直鬪戰ハ又間鬪戰死戦リヨニ容收體屍ノモルタシ認現ヲノモルサセ有）	戰死
●				●	●						（定 認） 認 確	死
●											（サセ發兼ヲ病餘ノモル）	戰傷
●							●	●			（セ亡死發兼病餘ノモル）	同上
●	●	●				●	●	●			（除解集召ハ又役免ノモルセ亡死後）	同上
●								●			般	一
●						●	●	●			病發後還歸地内	特定流行病
●							●	●			（症轉）發兼（病行流外以）	病平
●						●		●			者 シ リ サ セ 院 入	特定以外流行病
●							●	●			者 歿 死 院 入	特定以外流行病
●	●	●				●	●	●			亡死後除解集召ハ又役免	病平
●								●	●		（者ルセ容収ヲ體屍）	死即
●				●	●			●			者 歿 死 （定 認） 認 確	災厄公傷死
●							●	●	●		者 歿 死 院 入	災厄公傷死
●	●	●				●	●	●	●		亡死後除解集召ハ又役免	病平
●			●		●		●	●			殺	自
●			●		●		●	●			殺	他
定規告報軍陸）告報別特ハテリ在二者殺自シ但ス示ヲ類書キヘス附添ハ印● 一 二者歿死病神精、ヲ寫本騰決判者害加外ノ右ハテリ在二者殺他又ヲ（寫條四第 表屬二第表附）書明證實事モ雖ト合場ノ死（傷）戰ハ屬軍尙ス要ヲ書見意合綜ハ ストノモルス附添ヲ（用準「ロ」號一第 ストノモルス附添ヲ之ハ合場ルス有ヲ料資考參ルナ要必上定判祀合外ノ表本 二 ストノモルス附添ニ序順ノ載記欄稱名類書屬附 三 トコルサラナ大リヨ簿名申上ハサキ大其シ但ス用使ヲモノ宜適ハ紙用 四											備考	

●附表第二（附屬書類一覽表）

【五三】附表第二 附屬書類一覽表

【五四】附表第二屬表第一号 事實證明書様式

●附表第二屬表第一號（事實證明書様式）（昭和十七年陸達第七六號別冊第六號書式之一）

一、勅令指定流行病ニ關スルモノ

事實證明書	
本籍地	現住所
所屬部隊號	徵集年 官等級 氏 名
一 内地港灣出發年月日	一 内地港灣出發年月日
一 戰地(事變地)指定地	一 戰地(事變地)指定地
一 到著年月日	一 發病年月日
一 發病場所	一 發病場所
一 病名	一 病名
右證明ス	右證明ス
年 月 日	年 月 日
所屬部隊長 職 官 氏 名	所屬部隊長 職 官 氏 名

注意

- 一、公務旅行中、出征歸還中、戰地(事變地)到着直後又ハ歸還後ノ發病等ニ係ハルモノハ病名欄ニ發病迄ノ行動、勤務、受診狀況及感染ヲ推定セラルル地域ニ於ケル當該疾患ノ流行狀況等ヲ詳記スヘシ
- 二、徵集年ハ下士官、兵ノミ記入スルモノトス
- 三、疾病ニ關スル醫學的證明ヲ要スル場合ハ軍醫連署スヘシ
- 四、戰病(外傷、勅令指定流行病ヲ除ク)ニ關スルモノ

事實證明書	
本籍地	現住所
所屬部隊號	徵集年 官等級 氏 名
一 内地港灣出發年月日	一 内地港灣出發年月日
一 戰地(事變地)到着年月日	一 戰地(事變地)到着年月日

【五五】附表第二屬表第二号 現認證明書様式(昭和十九年7月15日)

●附表第二屬表第二號（現認證明書様式）（昭和十七年陸達第七六號別冊第六號書式之一）

現認證明書

現認證明書	
本籍地	現住所
所屬部隊號	徵集年 官等級 氏 名
一 受傷年月日	一 受傷年月日
一 受傷場所	一 受傷場所
一 受傷部位	一 受傷部位
一 受傷狀況	一 受傷狀況
右現認ス	右現認ス
年 月 日	年 月 日
現認者 官等級 氏 名	現認者 官等級 氏 名

注意

- 一、戰傷以外ノ場合受傷狀況ハ成ルヘク具體的ニ記載シ本人ノ當時ノ任務(勤務)及受傷ノ經過ヲ明瞭ナラシムヘシ
- 二、事情ノ複雑ナル公務關係ヲ立證スル場合ニ於テハ成シ得ル限り寫眞又ハ要圖ヲ添附スヘシ
- 三、徵集年ハ下士官、兵ノミ記入スルモノトス
- 四、現認者多數アルトキハ二名以上連署スヘシ
- 五、現認者ナキ場合所屬部隊長ハ左記書式ノ證明書ヲ調製スヘシ
- 六、現認證明書寫ヲ以テ代用スルコトヲ得但シ該寫調製官ニ於テ原本ト相違ナキ旨證明スルモノトス
- 七、通常「軍事秘密」ノ標記ヲ爲スモノトス

證明書	
本籍地	現住所



一 受傷年月日	所屬部隊號	徵集年 官等級 氏	名
一 受傷場所	名		
一 受傷部位 (又ハ受傷部位)	名		
一 受傷狀況	況		
右證明ス			
年 月 日	所屬部隊長 職官氏		
			名 <sup>㊤</sup>

【五六】附表第二屬表第三号 病歴書様式

●附表第二屬表第三號（病歴書様式）

（昭和十七年陸達第七六號）  
（別册第五號様式）

病歴書	本籍地	現住所	所屬部隊號	徵集年 官等級 氏	名
一 傷 (病) 名					
退院 (死亡) セルモノニ在リテハ退院 (死亡) 當時ノ傷 (病) 名ヲ記載スヘシ					
二 受傷 (發病) 年月日					
三 受傷 (發病) 場所					
四 原因					
別ニ原因タルノ事實實ヲ記載セル證明書アルトキハ「別紙現認 (事實) 證明書記載ノ如シ」トシ原因ノ記載ハ之ヲ省略スルコトヲ得					
五 經過					
受傷 (發病) 時ノ症狀ノ概要及爾後ノ經過ヲ記載シ死亡シタルモノニ在リテハ死歿ノ原因タル傷 (病) 名ノ判定ヲ容易ナラシムル如ク記載スヘシ					
六 退院時ノ症狀					
退院時ノ年月日					
七 退院年月日					
(死亡ノ場所)					
右ノ通ニ候也					
年 月 日	調製官 職 氏				名 <sup>㊤</sup>

注 意 (三、四、五號ハ陸達第七六號別册第五) (書式ノ外上申書類調製上特ニ附加ス)

- 一、調製官ハ入院セル病院ノ醫官又ハ病床日誌保管ノ病院長トス
- 二、徵集年ハ下士官、兵ノミ記入スルモノトス
- 三、戦傷ノ爲入院加療中疾病兼發死亡シタルモノニ在リテハ死歿原因カ戦傷ナリヤ戦病ナリヤノ判定ヲ容易ナラシムル如ク記載スヘシ

- 四、病歴書寫、病床日誌寫ヲ以テ代用ストコトヲ得但シ該寫調製官ニ於テ原本ト相違無キ旨證明スルモノトス
- 五、通常「軍事祕密」ノ標記ヲ爲スモノトス

【五七】附表第二屬表第四号 死亡診断書死体検案書様式

●附表第二屬表第四號（死亡診断書様式）（昭和十三年陸軍省令第三二號）

死亡診断書（死體検案書）	
一 氏名	
二 男女ノ別	
三 出生ノ年月日	
四 職業（死亡者ノ職業） （家計ノ主ナル職業）	
五 病死、自殺、其他ノ變死、中毒ノ別	
六 病名（自殺者ニ在テハ） （自殺者以外ノ變死者） （及中毒者ニ在テハ）	
種類	
七 發病ノ年月日（變死者自殺者等ニ在テハ之ヲ除ク）	
八 死亡年月日時	
九 死亡ノ場所	
右證明（檢案）候也	
年月日	
住所	
醫師何	
	某印

注意

死亡診断書、死體検案書ノ記載事項及其ノ様式ハ明治三十三年内務省令第四十一號及同年内務省訓令第二十八號ノ規定ヲ準用スヘシ但シ職業、病死等ノ別、病名及發病ノ年月日ノ項ハ夫々左ノ如ク記載スルモノトス

- 一、職業ノ項ニハ死者ノ屬スル部隊名及官等級ヲ記載シ家計ノ主ナル職業ハ記載ヲ要セス
- 二、病死等ノ別ノ項ニハ戰死者ニ在テハ「戰死」、戰傷死者ニ在テハ「戰傷死」、戰病死者ニ在テハ「戰病死」ト記載ス
- 三、病名ノ項ニハ病名ノ下ニ戰死又ハ戰傷死ノ者ニ在リテハ「戰傷」戰病死ノ者ニ在リテハ「戰病」ト附記ス
- 四、發病ノ年月日ノ項ニハ戰死又ハ戰傷死ノ者ニ在リテハ特ニ「何々地ニ於ケル戰闘ノ際受傷」ト附記ス

【五八】附表第二屬表第五号 死亡証書様式

●附表第二屬表第五號（死亡証書様式）（昭和十三年陸軍省令第三一號）

死亡証書	
所屬部隊	
官等級	
氏名	
右何年何月何日何地ニ於テ何々ノ際何部ニ何傷ヲ受ケ（何病ニ罹リ）爾後何病院（何々ヲ經テ何月何日來何病院）ニ於テ治療セシ處何々症ヲ繼（併）發シ遂ニ何々ニ由リ本日午前（後）何時何分死亡ス	
年月日	
職氏	
	名印

注意（五號ハ省令第三一號ノ外上申書類調製上特ニ附加ス）

- 一、陸軍ノ病院入院者ニ在リテハ當該病院長其ノ他ノ者ニ在リテハ主任軍醫之ヲ調製スルモノトス
- 二、調製官ノ職名ノミニテハ軍醫タル資格ヲ明瞭ニシ得サル時ハ職名ノ外官名モ記載スルモノトス
- 三、戰傷ニ在リテハ傷名ノ下ニ「戰傷」戰病ニ在リテハ傷名又ハ病名ノ下ニ「戰病」ト附記ス
- 四、記載事項中不詳事項ハ推定ニ依ル但シ「推定」ト附記スルモノトス
- 五、通常「軍事秘密」ノ標記ヲ爲スモノトス

【五九】附表第二屬表第六号 死亡確認（認定）書様式

●附表第二屬表第六號（死亡確認（認定）書様式）（昭和十七年陸軍省令第二六七七號）

死亡確認（認定）書	
所屬部隊號	
官等級	
氏名	
一、生死不明ト爲リタル日時場所	
二、生死不明ト爲リタル前後ノ狀況	
三、探リタル搜索手段	
四、死亡確認ノ理由	
右確認（認定）ス	
年月日	
所屬部隊長	
氏名	
	名印

注意（陸密第二六七七號ノ外上申書類調製上特ニ附加ス）

- 一、死歿ヲ立證スル資料（遺留品戰友ノ言土民ノ言其ノ他）ハ成ルヘク多ク且詳細ニ記載スルモノトス
- 二、同時ニ生死不明ト爲リタル者アル時ハ其ノ官氏名及ヒ之カ處置ヲ附記スルモノトス
- 三、通常「軍事秘密」ノ標記ヲ爲スモノトス

【六〇】附表第二属表第七号 合祀綜合意見書様式

●附表第二属表第七号（合祀綜合意見書様式）

靖國神社合祀綜合意見書	
所屬部隊號	
一、判 決	官等級 氏 名
二、理 由	
年 月 日	調製官 職 氏 名

注 意

- 一、調製官ハ上申名簿調製官トス
- 二、關係上官ハ餘白ニ副申スルモノトス
- 三、通常「軍事祕密」ノ標記ヲ爲スモノトス

【六一】附表第二属表第八号 在郷間死歿者事実証 明書様式

●附表第二属表第八号（在郷間死歿者事実證明書様式）

陸軍上等兵山田太郎事實證明書	
一 昭和十三年十二月 一日	歩兵第〇〇聯隊ニ入營（又ハ應召）
一 同 年十二月 十日	出征（又ハ滿洲派遣）ノ爲〇〇港出發
一 同 年十二月 十五日	〇〇上陸
一 自昭和十三年十二月 十六日	〇〇省〇〇附近ノ警備
一 至同 十四年三月 十日	〇〇省〇〇附近ノ戰鬪（討伐）参加
一 自 同 年三月 二十日	右側肺炎ニテ〇〇病院入院
一 同 年三月 二十日	〇〇病院ニ於テ兩側胸膜炎ニ轉症
一 同 年五月 十日	〇〇病院ニ轉送
一 同 年八月 十五日	〇〇病院ニ於テ兵役免除
一 同 十五年一月 十日	〇〇病院治療（事故）退院
一 同 昭和十五年三月 十三日	〇〇ニ於テ農業ニ従事
一 至同 十五年十月 二十日	〇〇ニ依リ〇〇病院ニテ受診
一 同 年十月 二十一日	〇〇ニ依リ〇〇病院入院
一 同 年十一月 一日	〇〇病院ニ於テ肺結核ニ轉症
一 同 年 月 日	〇〇病院ニ於テ肺結核ニ依リ死亡
一 昭和十六年三月 二日	
右ノ通相違無キコトヲ證明ス	
年 月 日	〇〇〇聯隊區司令官 氏 名

注 意

- 一、曆日ハ經過ノ明瞭ナル如ク記述（例ヘハ頁變更セラルルニ拘ラス同年同月等ト記述スルカ如キコトナク新頁ノ冒頭ニハ年月ヲ記載スルコト）スルモノトス
- 二、召集解除、免役後ニ於ケル受診ト就業關係ハ精細ニ記述スルモノトス
- 三、通常「軍事祕密」ノ標記ヲ爲スモノトス



【六二】 附表第二屬表第九号 在郷間死歿者狀況調書様式

● 附表第二屬表第九號 (在郷間死歿者狀況調書様式)

在郷間死歿者狀況調書	
本籍地	官等級 氏 名
現住所	
<p>一、免役 (召集解除又ハ退營) 歸宅ヨリ死歿迄ノ療養狀況 (醫學上ノ専門的ニ互ルヲ要セス曆日ヲ逐ヒ詳細具體的ニ)</p> <p>二、免役 (召集解除又ハ退營) 歸宅後ヨリ死歿迄ノ生活狀況</p> <p>1、生 計 狀 況</p> <p>2、本人又ハ家族等ノ言動 ヲ詳細具體的ニ</p> <p>3、近 隣 ノ 風 評</p> <p>三、免役 (召集解除又ハ退營) 歸宅ヨリ死歿迄ノ就職狀況 (官廳、會社、工場等に就職セル者ハ其出勤狀況ヲ詳細具體的ニ)</p> <p>四、其他參考事項</p> <p>1、市 (區) 町村葬等ヲ實施セルヤ否ヤ其他參考事項</p> <p>年 月 日</p>	
官 公 職 名 氏	名 ④

注意

- 一、本調書ハ聯隊區司令官又ハ兵事部長ヨリ、現住地ノ市 (區) 町村長、警察署長、在郷軍人分會長又ハ之ニ準スル官公職ニ在ル者ニ對シ照會ノ上調製セシムルモノトス
- 二、免役 (召集解除又ハ退營) ヨリ死歿迄終始陸軍病院又ハ各地傷痍軍人療養所ニ入院又ハ入所セル者及歸宅後一ヶ月以内ニ死歿セル者ハ本調書ヲ要セス



【六四】附表第三 一連名簿様式

●附表第三 (一連名簿様式)

靖國神社 特別合祀 上申者一連名簿				調製部隊ノ所管 長官發翰年月日			調製部隊ノ所管 長官發翰番號				
陸軍省 受番號	官等	氏名	合否	後日	調製部隊ノ所管番號	死歿時ノ所管番號	死歿時ノ所管番號	調製部隊番號	所製部隊番號ノ	摘	要
×		×			×	×	×	×	×		

- 注意
- 一、一連名簿ハ上申名簿調製部隊ニ於テ作製スルモノトス
  - 二、×印ノ欄ノミ記入スルモノトス
  - 三、所管號及部隊號ハ必ス固有名稱 (通稱號ニアラス) ヲ使用スルモノトス
  - 四、官等ハ昭和十五年陸普第七四二〇號ノ記載方ニ準シ略記スルモノトス
  - 五、死歿時ノ各部隊毎ニ軍人ト軍屬ニ区分シ更ニ合祀、特別合祀別ニ用紙ヲ改メ作製スルモノトス
  - 六、發翰年月日同番號欄ニハ上申名簿ニ記載セルモノト同一ノ年月日番號ヲ記載スルモノトス
  - 七、用紙ハ「インキ」使用ニ堪ユルモノヲ使用スルモノトス
  - 八、末尾ニ死歿者ノ曆月毎ノ人員ヲ附記シ集計シ置クモノトス
  - 九、通常「軍事祕密」ノ標記ヲ爲スモノトス

【六五】附表第四 異動（訂正）報告様式

●附表第四（異動（訂正）報告様式）

靖國神社合祀特別申上名簿異動（訂正）報告				
及發異 翰動 番訂 年正 月報 日告	項事（正訂）動異	官 等 級	戰死 （傷） 死、年 病死月 別日	發上 翰申 年名 月簿 日
○	×	×	×	○
提 出 部 隊		氏 名	所死 屬亡 部當 隊時 號ノ	發上 翰申 番名 號簿
×		×	×	○

注意

- 一、×印ノ欄ハ提出部隊ニ於テ、○印ノ欄ハ所管長官ニ於テ記載スルモノトス
- 二、官等級ハ上申名簿ニ準シ略記スルモノトス
- 三、上申名簿發翰年月日及發翰番號ハ上申名簿調製部隊ノ所管長官ニ於テ當該上申名簿ニ記載セルモノヲ記載スルモノトス
- 四、用紙ハ隨意トス
- 五、通常「軍事祕密」ノ標記ヲ爲スモノトス

【六六】靖国神社合祀資格審査内規案（昭和19年7月18日）

靖 國 神 社 合 祀 資 格 審 査 案

昭和十九年七月十八日修正  
陸 軍 省

変 事 洲 滿	地域	期 間	戦 傷 死	審 査 標 準		
				軍 人	軍 属	其 他
<p>自昭和 六、九、一八 至同 一、三、三二</p> <p>自昭和 六、九、一八 至同 一、三、三二</p>	<p>滿 洲 国 (関東州ヲ除ク)</p> <p>北支那及上海方面</p>	<p>自昭和 六、九、一八 至同 一、三、三二</p> <p>自昭和 六、九、一八 至同 一、三、三二</p>	<p>特 定 流 行 病 死 殞</p> <p>特 定 流 行 病 以 外 ノ 疾 病 及 不 慮 死</p> <p>自 殺</p>	<p>一、軍属ハ軍人ニ比シ更ニ 嚴選主義トシ死歿當時ノ 任務及狀況ニ依リ詮議ス ルヲ原則トス</p> <p>二、滿洲国軍ニ雇傭中ノ帝 国軍人ハ日本軍ノ隷下ニ 於テ戰闘シ之ガ爲戰死又 ハ戰傷ヲ受ケ死歿シ其ノ 情狀合祀ヲ適當ト認メタ ル者ニ限り特別詮議ス</p> <p>三、滿洲国軍ニ雇傭中ノ者 ニ限ル他ノ滿洲国官庁 等ニ雇傭中ノ者ハ含マ ザルモノトス</p>	<p>一、軍属ハ軍人ニ比シ更ニ 嚴選主義トシ死歿當時ノ 任務及狀況ニ依リ詮議ス ルヲ原則トス</p> <p>二、軍属ハ軍人ニ比シ更ニ 嚴選主義トシ死歿當時ノ 任務及狀況ニ依リ詮議ス ルヲ原則トス</p> <p>三、軍属ハ軍人ニ比シ更ニ 嚴選主義トシ死歿當時ノ 任務及狀況ニ依リ詮議ス ルヲ原則トス</p>	<p>一、軍属ハ軍人ニ比シ更ニ 嚴選主義トシ死歿當時ノ 任務及狀況ニ依リ詮議ス ルヲ原則トス</p> <p>二、軍属ハ軍人ニ比シ更ニ 嚴選主義トシ死歿當時ノ 任務及狀況ニ依リ詮議ス ルヲ原則トス</p> <p>三、軍属ハ軍人ニ比シ更ニ 嚴選主義トシ死歿當時ノ 任務及狀況ニ依リ詮議ス ルヲ原則トス</p>
<p>自昭和 六、九、一八 至同 一、三、三二</p> <p>自昭和 六、九、一八 至同 一、三、三二</p>	<p>滿 洲 国 (関東州ヲ除ク)</p> <p>北支那及上海方面</p>	<p>自昭和 六、九、一八 至同 一、三、三二</p> <p>自昭和 六、九、一八 至同 一、三、三二</p>	<p>特 定 流 行 病 死 殞</p> <p>特 定 流 行 病 以 外 ノ 疾 病 及 不 慮 死</p> <p>自 殺</p>	<p>一、軍属ハ軍人ニ比シ更ニ 嚴選主義トシ死歿當時ノ 任務及狀況ニ依リ詮議ス ルヲ原則トス</p> <p>二、滿洲国軍ニ雇傭中ノ帝 国軍人ハ日本軍ノ隷下ニ 於テ戰闘シ之ガ爲戰死又 ハ戰傷ヲ受ケ死歿シ其ノ 情狀合祀ヲ適當ト認メタ ル者ニ限り特別詮議ス</p> <p>三、滿洲国軍ニ雇傭中ノ者 ニ限ル他ノ滿洲国官庁 等ニ雇傭中ノ者ハ含マ ザルモノトス</p>	<p>一、軍属ハ軍人ニ比シ更ニ 嚴選主義トシ死歿當時ノ 任務及狀況ニ依リ詮議ス ルヲ原則トス</p> <p>二、軍属ハ軍人ニ比シ更ニ 嚴選主義トシ死歿當時ノ 任務及狀況ニ依リ詮議ス ルヲ原則トス</p> <p>三、軍属ハ軍人ニ比シ更ニ 嚴選主義トシ死歿當時ノ 任務及狀況ニ依リ詮議ス ルヲ原則トス</p>	<p>一、軍属ハ軍人ニ比シ更ニ 嚴選主義トシ死歿當時ノ 任務及狀況ニ依リ詮議ス ルヲ原則トス</p> <p>二、軍属ハ軍人ニ比シ更ニ 嚴選主義トシ死歿當時ノ 任務及狀況ニ依リ詮議ス ルヲ原則トス</p> <p>三、軍属ハ軍人ニ比シ更ニ 嚴選主義トシ死歿當時ノ 任務及狀況ニ依リ詮議ス ルヲ原則トス</p>

一、軍人軍属等ニシテ滿洲事変ニ関シ昭和十六年九月十八日ヨリ昭和十六年十二月七日迄ノ間、支那事変ニ関シ昭和十二年七月七日ヨリ昭和十六年十二月七日迄ノ間ニ於テ死歿シタル者及大東亜戦争ノ爲昭和十六年十二月八日ヨリ死歿シタル者ニシテ左記ニ該當スルトキハ之ヲ合祀ス

1 戦死又ハ戦傷ノ爲死歿シタル者

2 戦地、事変地ニ於テ特定流行病（マラリア、猖狂熱、痘瘡、コレラ、発疹チフス、腸チフス、バラチフス、ペスト、回歸熱、赤痢、流行性腦脊髄膜炎、トリパノゾウム病、ワイル氏病、カラアザール病、黄熱、流行性出血熱、デング熱ヲ謂フ）ニ罹リ又ハ自己ノ重大ナル過失ニ因ラズシテ傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ之ガ爲死歿シタル者

3 戦地事変地以外ノ地ニ於テ戰役、事変ニ関スル公務ノ爲傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ又ハ避クベカラザル災厄ニ因リ死歿シタル者

4 戦地、事変地等ニ於テ自殺シタル者等ニシテ其ノ情狀合祀ヲ至當ト認ムベキ者

又既合祀者トノ均衡ヲ失セザル如ク特ニ留意スルモノトス

三、差當リ審査上標準スベキ標準左ノ如シ此ノ標準ニ達セザル者ハ一應保留シ後日更ニ精細ナル標準ヲ定メ詮議ス

特別ノ者以外ハ合祀  
但昭和十三年五月二十日以降滿洲国ニ於テ  
流行病ニ罹リ之ガ爲死歿シタル者ハ特別詮  
議ヲ以テ合祀ス爲

一、昭和十三年五月二十日以前ノ原因ニ因ル者ハ自己ノ重大ナル過失  
失ニアラザル限り全部合祀ス  
五月二十日以後ノ原因ニ依リ死歿者ハ在滿三ヶ月以上ノ者ハ特  
別詮議（昭和十五年四月定ム）

二、事変地ニ於ケル受傷、罹病ニ因リ内地ニ於テ死歿シタル者ハ  
① 受傷、罹病後三年以内ニ該傷病ニ因リ死歿セル者  
② 内地帰還後ノ発病ハ帰還後一年以内ノモノヲ取敢ヘズ詮議  
ス  
③ 事変地ノ傷病ト死因トハ直接關係ナキ場合ニ於テモ前者カ  
後者ノ誘因ノ一ツト認メ得ルモノハ詮議ス  
④ 事変地罹病者一旦治愈退院シ後日疾病ノ爲死歿シタル者ハ  
死因疾病ト事変地罹病疾病トノ間ニ關係ヲ認メ得ルモノハ詮  
議ス

一、軍事輸送中ノ事故、動員編成中ノ事故罹病等眞ニ直接的ナル  
モノニ限ルガ爲認定困難ナルモノハ事変行賞ノ結果ヲ待チ詮議  
ス

二、事変地ノ解釋ニ就テハ関東州、朝鮮等隣接地域ハ成ルベク嚴  
密ニシ範圍ヲ膨脹セシメザルヲ要ス

三、事変勤務ノ解釋ヲ嚴ニスルヲ要ス

① 内地勤務ハ大體ニ於テ合祀セザルヲ原則トシ特別ノ者ハ考  
慮ス

② 事変地ヘ輸送途中ノ死歿者ハ後日一括詮議トシ保留ス

昭和十五年四月以降ノ審査ハ主旨ニ於テハ変化ナキモ左ノ標準ニ依リ詮議ス

① 内地罹病及出征途上ノ発病ハ特ニ嚴選主義トス又内地動員部隊勤務中ノ者ニ付テハ現役、豫、後備役の

支那 五月

滿洲 六月 以前ノ原因  
ニヨルモノ  
ハ五月

昭和十三年  
五月二十日  
以後ノ原因  
ニヨルモノハ左  
記期間以上事  
変地勤務ニ  
従事シタル  
モノトス

三、軍人軍属以外ノ警察官  
又ハ滿鉄社員等ノ如キハ  
軍人軍属戰死ト同様ノ情  
況ニ於テ殉職シタルモノ  
ニ限り特ニ詮議スルモ嚴





考 備	東 亞 戦 争			戦 地
満洲事変、支那事変及大東亞戦争死者ノ資格審査上個々ノ詮議ニ於テ特ニ留意セシ事項別表ノ如シ	内地、朝鮮、台湾、関東州	海上	事 変 地 (関東州ヲ除ク 満洲国)	戦地
	自昭和二六、三、ハ至			
	合 記			
	支那事変ニ準ズ	危険区域ニ於テ概ネ二月以上勤務スル者ハ戦地勤務ニ準ズ、其ノ他ノ者ハ個々ニ詮議ス	一、四月在滿勤務セル者(大東亞戦開始前ヨリ昭和十七年三月末迄)特ニ從事セル者及特定ノ流行病ニ因リ死因等ニ依リ個々ニ酌量詮議ス 二、事変地ニ於ケル受傷、罹病ニ因リ内地ニ於テ死シタル者ハ左記範圍ニ於テ詮議ス ① 罹病受傷後三年以内ニ該傷病ニ因リ死シタル者 ② 内地帰還後ノ発病ハ帰還後一年以内ノモノヲ取敢ス詮議ス ③ 事変地ノ傷病ト死因傷病ト直接關係ナキ場合ニ於テモ前者ガ後者ノ誘因ノ一ツト認メ得ルモノハ詮議ス ④ 事変地罹病者一旦治癒退院シ後日疾病ノ爲死シタル者ハ死因疾病ト事変地罹病疾病トノ間ニ關係ヲ認メ得ルモノハ詮議ス	④ ③ ② 上經過スルモ其ノ情狀合祀ヲ適當トスルモノハ嚴選酌量ス 内地帰還後ノ発病ハ帰還後一年以内ノモノヲ取敢ス詮議ス 戦地ノ傷病ト死因トハ直接關係ナキ場合ニ於テモ前者ヲ後者ノ誘因ノ一ツト認メ得ルモノハ詮議ス 戦地罹病者一旦治癒退院シ後日疾病ノ爲死シタル者ハ死因疾病ト戦地罹病疾病トノ間ニ關係ヲ認メ得ルモノハ詮議ス
	戦地ニ同ジ	右ニ準ズ	但其ノ情狀合祀ヲ至當ト認ムルモノ	
	一、戦死、戦傷死以外ハ其當時ノ狀況、任務、勤務期間等ヲ顧慮シ四月以上危険区域ニ勤務セル者ハ個々ニ嚴選ス但軍属船員ハ六月以上トス	一、戦死、戦傷死以外在滿八月(大東亞戦開始前ヨリ昭和十七年三月末迄)特ニ從事シタル者ハ四月ニシテ戦病死ノ認定アル者ハ概ネ合祀 但其ノ勤務地ノ環境、勤務ノ性質、身分、季節、死因等ニ依リ個々ニ酌量詮議ス		